

◇ 丹後大学駅伝 第84 回関西学生対校駅伝競走大会 ◇

2022 年 11 月 19 日(土) 京丹後地域コース 久美浜公園～宮津市役所 8 区間 84.5km

【総合順位】

順位	大学名	記録	順位	大学名	記録
1	関西学院大	4:16:01	12	神戸学院大	4:35:08
2	立命館大	4:18:27	13	神戸大	4:35:28
3	京都産業大	4:18:36	14	大阪体育大	4:37:09
4	関西大	4:19:14	15	関西福祉大	4:38:03
5	大阪経済大	4:21:30	16	佛教大	4:39:06
6	びわこ学院大	4:23:19	17	摂南大	4:40:15
7	京大	4:28:26	18	大阪公立大	4:40:54
8	龍谷大	4:31:56	19	近畿大	4:42:27
9	同志社大	4:32:28	20	大阪国際大	4:45:05
10	大阪大	4:33:01	21	放送大関西	4:49:27
11	大阪学院大	4:33:50	22	兵庫県立大	4:53:29

【区間成績】

区間	距離	氏名(学年)	通過記録	順位	区間記録	順位	区間10位記録
1区	10.3Km	角川裕哉(2)	32'06"	11	32'06"	11	32'01"
2区	6.8Km	篠原直生(3)	56'02"	10	23'56"	12	23'51"
3区	7.0km	横谷陸哉(3)	1°18'19"	14	22'17"	17	21'42"
4区	9.8km	若江亮平(M1)	1°49'51"	8	31'32"	8	31'51"
5区	12.3km	則岡颯太(1)	2°28'04"	8	38'23"	9	38'40"
6区	13.3km	佐々木太一(3)	3°11'35"	8	43'21"	15	43'04"
7区	13.3km	水内 政孝(2)	3°55'23"	12	43'48"	18	41'56"
8区	11.7km	平尾 瑛(1)	4°35'28"	13	40'05"	19	38'11"
総合	84.5Km	神戸大学	4°35'28"	13	-	-	-

丹後駅伝を振り返って

駅伝主将: 佐々木太一

はじめに

OB・OG の皆様、今大会では沿道でのご声援に加えてライブ配信を通してのご声援ありがとうございました。今回の丹後駅伝は3年ぶりの有観客開催となり、多くのOBの皆様が現地へお越しいただきました。出場したメンバーも「しんどい場面でもOBの皆様の激励で奮起することが出来た」と話しており、神戸大学の襷を繋いでいる自覚を一層感じる事が出来ました。ありがとうございました。

今大会は総合 13 位という結果となり、目標としていた「10 位以内・シード権獲得」には2分17秒届きませんでした。以下、今年の駅伝チームの振り返りと来年への展望を記していきます。

今年の駅伝チームについて

昨年の駅伝メンバーから、エースの佐久間さん(新 68 回)・6 年連続出場の平井さん(新 68 回)・前回 7 区区間 9 位の田上^雄さん(新 70 回)・留学のため不在の岡田(新 71 回)の 4 名が抜け厳しい戦いとなる事が予想されていました。長年神戸大学の駅伝を支えてきた先輩方が卒業してしまうことで、昨年終了時点では「シード権獲得」を目標にすることすら難しいと感じていました。そのような状況下でも特に 2 回生のレベルアップ、そして有望な 1 回生の加入と順調に練習をこなす姿がチームに勢いを与え、今秋には堂々とシード権を目指せるチームとなりました。

区間配置での作戦

メンバー選考 4 番手までの角川、

則岡、佐々木、若江の配置を軸に区間を熟考しました。今年から距離延長となった 1 区、各大学エースが集まる 5 区と 6 区に加えて、前半区間の締めくくりとなる 4 区に重きを置く配置とし

ました。最長区間である 7 区では無く 4 区に重きを置いた理由は以下の通りです。

- ・4 区はアップダウンや海風が難しい区間であること
- ・長距離区間(5～7 区)で逆転するには圧倒的なエースの力(最低でも 10000m30 分台相当)が必要で今年のチームには戦況をひっくり返すことのできる選手がいなかったこと
- ・良い位置で襷を繋ぐことが出来れば後半区間での好走に期待がかかること
- ・最長区間である 7 区も重要だがそれ以上に前半で良い位置で繋ぎたい

以上の点を考え、前半からシード権内の良い流れでレースを進めて後半粘るための区間配置としました。作戦名は「1～4 区で 1 区作戦」です。



前半区間(1~4区)の振り返り

1区には角川(2)を起用しました。今年1年間で5000mの自己ベストを50秒更新した選手です(15'55→15'04)。京阪神新人戦の5000mでも優勝し、学内10kmTTにおいても1着でゴールしています。安定感と勝負強さから今のチームで最も1区を安心して任せられました。本番では前半5kmのスローペースから一気にペースアップし後半5kmが15'02になる難しいレース展開でしたが、先頭と20秒差の11位で襷を繋ぎました。後を走る選手に勇気を与える走りでした。

2区は本来であれば谷垣(M1)が出走する予定でしたが、本番4日前に体調を崩してしまい急遽篠原(3)が走る事となりました。その篠原も怪我の影響で本来は出走しない予定でしたが、前回・前々回大会の実績からシード権獲得に向けて篠原の力が必要と考え2区を任せました。体力面で心配された中の出走でしたが前半は落ち着いて走り、後半の登り坂では粘りの走りを見せてくれました。男子主将の意地の走りで10位に順位を押し上げました。

3区は2年連続で横谷(3)の出走となりました。今シーズン思うように走れていませんでしたが、秋口から徐々に調子を上げメンバー入りしました。昨年の経験を活かし序盤のハイペースに飲まれることなく落ち着いて走りましたが、腹痛に襲われ14位まで順位を落とす結果になります。ただ、今回の作戦は4区終了時に良い流れを引き寄せることです。十分に前を追える位置で4区に襷を繋ぎました。

4区は5度目の丹後駅伝出走となるエースの若江(M1)です。今年から大学院に進学し、研究と部活の両立に苦しんだシーズンでした。怪我の影響もあり長距離区間の出走とはなりませんでしたが、5回目の経験と駅伝での安定感から今回の駅伝のキーポイントとなる4区に配置しました。本番は前方を走る大学を捉え、8位まで順位を押し上げ期待に応えました。

～前半区間を終え、8位と作戦通りの展開でレースを進めることが出来ました。ここから後半区間はいかに粘ることが出来るかの勝負になります。～

5区には則岡(1)を配置しました。単独走が得意であること、試走時点から5区が合っていたこと、学内TTで角川に次ぐ2着でゴールしたことからエース区間と言われる5区を任せました。本番では自己ベストで格上の選手が後ろから追ってくる中、区間8位の力走で混戦状態から

飛びぬけることが出来ました。10000mの通過も31分ほどで通過しておりトラックシーズンでも期待がかかります。

6区は駅伝主将の佐々木(3)です。一昨年この区間を走った経験と今季5000mで大学ベスト、10000mで自己ベストを出したことから何とか粘ることが出来ると見込んでの配置となりました。順位は8位のままキープし区間9位から+20秒と及第点の走りであったと思いますが、後続との差を詰められる形となってしまいました。

7区には次期駅伝主将の水内(2)を配置しました。安定感があることから最長区間である7区を任せました。繰り上げスタート時からハイペースのレースとなりました。その中で10km通過は自己ベストを大きく上回るなどシード権に向けて最大限の走りをしましたが、後半失速してしまい全体順位は12位となりました。水内が自分のペースで走れるように襷を繋ぎ、繰り上げスタートを回避したかったところでした。

8区を走ったのは1年生平尾です。受験期のブランクによってトラックシーズンは苦しみましたが、メンバー選考のタイムトライアルでは力強い走りでメンバーに食い込みました。日中の方が力を十分に発揮でき、長距離区間に適性があることから最終8区に配置しました。ライバル校との競り合いを意識して出走しましたが、シード権には及ばずゴールする形となりました。この悔しい結果は、今後彼が成長するうえでの原動力になると思います。

全体を振り返って

まず、目標となるシード権獲得には届かなかった反省点について1点目に選手層の薄さです。10月初頭、主要区間を務める予定であった篠原が怪我を負ったことによって戦況が厳しくなりました。1区、4区~7区のうち1区間は10000m自己ベストが33分付近の選手に任せる必要がある状況となりました。今回の駅伝や先輩方の経験を通して、この5区間では最低限10000m31分台の選手であることが遅れをとらない条件だと感じています。

2点目に後半区間へのレース状況伝達です。3年ぶりの有観客での丹後駅伝の開催で、ほとんどの部員が初めての有観客での駅伝でした。今年は繰り上げスタートとなる7・8区に直前のレース状況を伝えられず情報の少ない中でスタートする形となってしまいました。今年度タイム計測を配置した2km前でなく3kmほど前に計測の部員を配置すべきであったと反省しています。

今回の駅伝を通して良かった点は、狙い通りの駅伝を

することが出来た点です。前半で良い流れに乗れたことで、エース区間である 5・6 区で走りやすい状況となりました。あとは、個々のレベルアップとチームとしての底上げです。来年シード権を獲得する確かな手ごたえを感じることが出来たことが今回の駅伝で最もよかったことであると考えています。

来年への展望

今年出走したメンバー8名は1回生2人、2回生2人、3回生3人、院1回生1人と全員が来年も出場可能です。

さらに今年出走したメンバーに加えて選考5番手であった谷垣(M1)や5000m15'11の自己ベストを持つ新谷(1)を始めとした期待のもてるメンバーが揃っています。今年以上にメンバー争いが激しくなると予想されます。

現在、チーム内で先輩後輩関わらずライバル意識をもって切磋琢磨し高めあう雰囲気が出ています。来年は関西インカレでの1部昇格、そして丹後駅伝でのシード権獲得を掴みとれるように冬季の練習を積んでいきます。今後とも応援の程、宜しくお願いします。



【上段左から】平尾(1) 藤代(2) 新谷(1) 水内(2) 青野(2)

【下段左から】則岡(1) 角川(2) 佐々木(3) 横谷(3) 篠原(3)

～ 選手より ～

1区：角川 裕哉（2）

最初の5000mがかなりスローペースだったため、多少のペースアップは覚悟していましたが、後半のペースの上がり方は想像以上でした。ペースアップした瞬間、自分の実力についていくのは難しいと思いましたが、今回の自分の役割は「1区で確実に良い順位で襷を繋いで流れをつくる」というものだったので、先頭集団についていく決

心をしました。結果、最後はラストスパートすら全く掛けられないほど息も絶え絶えな走りにはなりましたが、なんとか先頭と大差をつけられずに襷をつなぐことができました。自分の役割を果たすことができたと感じています。きつい走りでありながら最後まで走り切れたのは応援のおかげなので、応援してくださった方々には感謝してもしきれません。本当にありがとうございました。



1区 角川(2)



3区 横谷(3)

2区：篠原 直生 (3)

怪我明けで思ったように練習が積めない中、緊急で走ることが決まりこれまで以上に不安を抱えたレースでしたが、結果としてはなんとかチーム順位を一つ押し上げることができ安心しています。ただ、本来であればもっと上のタイム、順位でレースを運び、チームを引っ張らなければいけないので、来年に向け、もっと自分を磨いていきたいと思えます。朝早くからの応援ありがとうございました。



2区 篠原(3)

4区：若江 亮平 (M1)

いい流れを作って後半区間につなげるという今回の駅伝での役割は果たせました。しかし、本来であれば距離に強い自分が後半区間を走るべきであり、その状態まで準備できなかったことでチームに迷惑をかけてしまいました。来年度は万全の状態で臨めるよう練習を積み重ねます。応援ありがとうございました。



4区 若江(M1)

3区：横谷 陸哉 (3)

中盤まで力を温存した走りをしていたつもりでしたが、後半ペースアップすべきところで失速し、シード圏内の10位から順位を4つ落としてしまいました。この区間で一度順位を落としたことで、後半区間の選手の負担をより大きくさせてしまいました。この結果を重く受け止め、来年は成長した姿を見せたいと思えます。応援ありがとうございました。

5区：則岡 颯太 (1)

今の自分のベストの走りができたと思います。しかし、チームをシード権獲得に導くことは出来ず、個人としても区間9位とまだまだ強くないといけなくて痛感しました。来年は必ずシード権をとれるように心身共に成長していければと思います。途中のOBの方々の応援がとても力になりました。暖かいご声援本当にありがとうございました。



5区 則岡(1)

6区：佐々木 太一（3）

良い位置で繋いでもらったおかげで、後続が近づいてきても落ち着いてレースを進められました。最初の10kmを自己ベスト相当で通過し、今の自分の走りはできたと感じています。しかし6区で他大学に先行できる力はありませんでした。来年は、どの区間でもリードできる選手になってシード権獲得を果たしたいです。応援ありがとうございました。



6区 佐々木(3)

7区：水内 政孝（2）

1区から6区までがいい流れだった中で、自分の区間で大きく順位を落としてしまい、悔しい気持ちでいっぱいです。来年こそはチームに貢献できるよう、練習に励みたいと思います。応援ありがとうございました。



7区 水内(2)

8区：平尾 瑛（1）

個人としては自分の走りができませんでした。それによって目の前にあったシード権を逃してしまう結果になってしまいました。来年、この悔しさを晴らすことができるように一年間練習に励みます。応援ありがとうございました。



8区 平尾(1)

<動画配信について>

今大会は3年ぶりの有観客開催となりました。昨年に引き続き、読売テレビあすリートチャンネルによるライブ配信も行われました。当日ご覧いただけなかった皆さまもアーカイブ配信がございますので、下記URLよりぜひご覧下さい。

<https://youtu.be/EOFD0bguGrE>

<ご声援ありがとうございました！>

新 17回 加藤善典様	新 17回 椎木茂久様
新 17回 依田泰吉様	新 21回 絹田清昭様
新 25回 湯本欣延様	新 27回 森口智夫様
新 27回 森島茂夫様	新 27回 矢野猛様
新 28回 二口正紹様	新 30回 山本達男様
新 33回 丹波滋様	